

(哈日族)、彼らは主に日本のサブカルチャーが好きで、アニメや歌、ファッショングや文学に至るまで幅広く好感を持つている。入り口は何でもいいから好きだということで、民間レベルで相互に繋がって交流を深めていくことが重要である。

世界を見渡せば台湾やトルコのような親日本だけではなく、日本に好感を持っている人は大勢いる。韓国人でさえ日本が好きな人はいるけれども。日本が好きだと言うとバッシングを受けるから言わないだけの話。

一方、自国に自信が持てない或いは好きになれない日本人が多いのは、戦後レジウムから脱却できないのが最大の原因。いつまでたつても目が覚めない国民があまりにも多すぎるのである。

こうした歪な精神構造は、外交にも暗い影を落とす。日本人は、頭さえ下げていれば上手くいくというような思い込みがあるが、こうした態度は、世界ではだれも尊敬してくれないし馬鹿にされるだけ。台湾には、「やわらかい土は深く掘られる」ということわざがある。やわらかい土ということは、何も抵抗しないということ

で、そういう人はどんどん掘られていく。それが普通の人のメンタリティ一である。特に外交では言いなりになつていれば、どんどん向こうが攻め込んでくるのが世界の常識。あうんの呼吸で、「今日は貴方が譲つてくれたから、明日は私が譲りましよう」といった日本式の感性は通じない。こちらが低姿勢でいれば、外国人は幾らでも自分の言い分を通してくれる。日本人にはそれがわかつていない。国際間で問題が起こつても、日本は譲つてしまふことが多い争うこと躊躇する。イエスと早く言つてしまつた方が、問題がこじれずに解決できるとでも考へているのか。自國の正しい歴史を探求して、誇りと自信を取り戻し卑屈な態度は早期に払拭すべきである。

べて、良いところだなといふ程度に好きになつてくれるのはいるけれども、実は日本の安全にとつては最も重要な国。台湾が絶対に台湾でなければならぬといふ、この一番大切なところをどれだけの日本人が理解しているのか。

もし台湾が中国の一部になつてしまつたら、台湾海峡というものは中国の内海になつてしまふ。当然、日本はシーレーンを脅かされる。資源のない日本のような海洋国家にとって、海上交通路の確保は国の安全保障上の最重要課題である。しかも台湾が中国の基地になつてしまつたら、次は沖縄が危ない。すでに沖縄には中國資本が流入するなど、じわり・じわりと侵食されてゐるという、気が付いた時には抜き差しならぬ状態になる可能性大である。ここのじわり・じわりが、一番危険だと私は思つてゐる。

兄弟のために花嫁人形を奉納して嫁がせるという思い、遺族の切ない気持ちが伝わってくる。こうした若い命を捧げた人たちに対しても、これっぽっちも哀惜の念がないとしたら、日本人としてだけではなく人間としても間違っていると思う。許されないとと思う。今の人達は国から何かをしてもらうことばかり考えている。

花嫁人形と共に置かれた英霊の遺影の中には、女性の手にも触れたことがないような純真そうなお顔がある。そんな人たちのことを考えたら、私はのうのうと暮らしていく何もしない国民というのではなく、自らがつくりだすもの。今の日本の平和と繁栄はだれのおかげか、つとしていて維持できるものではない。自らがつくりだした人、戦後復興のために一生懸命働いた人、今でも一生懸命働いて社会を支えている人。もらうことばかり考えてはだめだということ。

一年に一度でも三年に一度でも靖國神社に参拝して、生きているのは、すべてそういう人たちのおかげだ

そして日本人は、自分が持っている五つ星のスポーツのありがたみを十分認識すべきだ。ビザなしで渡航できる国のパスポートは世界的に見ても少数である。それは日本が国際的に認められている証拠である。日本はすぐれた技術力を持ち、裕福で恵まれた先進国であるが、もし日本国籍でいることの幸せがわからず、不幸と嘆くのであれば日本人をやめることだ。国のために戦うこともせず、無関心で、国を蔑ろにし、被害者意識のみ募らせる怠惰な国民であるならば、即刻、日本国籍を返上し自分の望む国に移住すればよい。日本人が自国のパスポートのありがたみが分かるようになれば、この国の将来にも新たな希望が見えてくると思う。なぜなら、そのありがたみが分からぬ人に、「國家」というものが、分からぬからである。「国家意識」なき民族が衰退の道をたどるのは必定である。

昨年の八月十五日、靖國神社外苑で開催された戦歿者追悼中央国民集会に提言者として出席した。平成八年と平成十七年に統いて三回目、外国人としては一番多く登壇させて戴き光栄なことである。平成十七年終戦六十年の年はとりわけ猛暑であったが、大勢の参拝者が長時間に亘り我々の提言に耳を傾けていた。この時の私の提言は現在でもユーチュープで配信されていて、アクセス回数が二千万八千回を超える靖國神社に対する関心の高さを窺わせる。

毎回、国民集会の冒頭に申し上げるのは、要するに靖國神社にお参りするとかしないとか、お参りする人もお参りしない人も様々と言ふわけをする。私はおかしいと思う、単純な話なの

ささらに日本人で、靖國神社にお参りをしないとか、してはいけないとか、そこはどうとか、こうとかという人は恩知らずだと思う。そういう人は今日本の繁栄を享受する資格はない。今の自分の恵まれた生活があるのは、靖國の神々や数多の先人達の礎の上に成り立っているのだとということを考えなければいけない。

ましてや外国人が靖國神社をどうこう言うなど無礼千万。終戦六十年の集会の際に、「どうかく言う外国人には、あんたたちの知ったことか、ノット・ユア・ビ

なことを言うなら、そんな無礼なことを言つてはいけない。そこで、ゲット・アウト・オブ・ヤスクニ、ゲット・アウト・オブ・ジヤパン」と怒鳴つてやつた。私が突然振り向いて英語で怒鳴るものだから、会場の後方に座つてゐる人は訳が判らず驚いたようだ。前の席にいる人は状況が判つていて、複数の若い参加者から「先生かっこいい」などとエールを贈られたのである。こうした時、咄嗟に毅然とした態度で言い返せるぐらいいの気迫を、日本人が失つてしまつたということが大問題。

で逮捕もせずに彼女等を見逃した。相手が外国人でしかも集団だったから腰が引けてしまい、結局足元を見られて好き勝手にされてしまった。高金素梅は、その後中国に入国し靖國神社での顛末を当局に報告したといわれる。つまり日台の離反こそが彼女の仕事なのだ。高金素梅を二度と日本に入れるなど言いたい。

例えば日本で韓流ドラマが流行っているけれども、日本のメディアは視聴率が上がるようになると乗せて宣伝しても中国に気兼ねして日本のメディアは取り上げない。これが日本の一番情けないところ。靖國神社に対しも、日本のマスクは同じようなスタンスを取る。何かお参りすることが憚られるような雰囲気をつくりあげる。

平均していえば台湾人というのではなく日本が好きだし、年配者は、日本統治下のあの五十年というのは懐かしく大切だと思っている人が多い。また若年層で日本が大好きというハーリーズ

再起せよ日本人

金美齡
評論家



「ジネスと言つてやれ」と発言した。直後に、外国人（後で聞いた話ではカナダ人らしい）が、わざわざ私の

い。台湾の国會議員に高金素梅というのがいる。再三靖國神社に来ては不敬なこと

ブレターなのだが、日本では見る人が少ないので想いが届かない。

※本文は、編集部が金美齡氏に面接取材した要約である。